



# 筑波大学附属病院

## 病院の概要 /

開設	1976年3月
開設者	国立大学法人筑波大学
院長名	原 晃
病床数	800床
標準科 (35科)	内科、膠原病・リウマチ・アレルギー内科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、感染症内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器・移植外科、内分泌・代謝・糖尿病内科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、循環器内科、心臓血管外科、腫瘍内科、脳神経内科、脳神経外科、脳卒中科、精神科、小児内科、小児外科、産科、婦人科、救急科、麻酔科、形成外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、腫瘍放射線科、放射線診断科、病理診断科、歯科口腔外科



指導医数 | 274人

研修医数 | 114人

研修医の主な出身大学 | 筑波大学、山形大学、秋田大学、北里大学、東京医科大学、獨協医科大学、日本大学、東邦大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学、弘前大学、富山大学、山梨大学、愛媛大学、宮崎大学、神戸大学、福島県立医科大学 他

外来患者数 | 1,813人/日

入院患者数 | 664人/日

## 募集要項 /

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者

採用人数 | 84名(一般)4名(小児特別)2名(産科特別)1名(研究医特別)(予定)

試験日程 | 2023年8月中旬~下旬頃  
※研究医特別のみ5月

選考方法 | 面接、OSCE

処遇 | ■身分: 医院(研修医)  
■給与: 1年次・2年次  
基本的に諸手当等を含め年収約400万円  
■社会保険: 有り  
■宿舎: 有り  
■その他:

## 筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1  
担当者: 病院総務部総務課 総合臨床教育センター係  
TEL: 029-853-3516・3523  
FAX: 029-853-3687  
E-mail: kensyu@un.tsukuba.ac.jp  
URL: http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp



## 病院見学対応状況

- 見学時間…随时(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…可能 学内宿泊施設等  
料金: 2,600円~3,700円
- 問い合わせ先  
担当者: 病院総務部総務課  
(総合臨床教育センター係)  
TEL: 029-853-3516、3523  
E-mail: kensyu@un.tsukuba.ac.jp

## 女性医師支援

筑波大学では育児中の女性支援に積極的に取り組んでいます。初期研修では産休・育休の取得、附属の保育園の利用、病児保育の利用が可能です。後期研修ではさらに短時間勤務制度が可能です。また、初期研修中でも専門研修中でも教育センター専任教員が産休・育児にあわせた研修カリキュラムの調整や相談対応を個別に行ってています。



## 研修プログラムの特色

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、大学病院と市中病院を一人一人の希望に沿って組みあわせたハイブリット研修ができます。大学病院を中心に研修をしたい場合は地域医療研修期間(4週間)以外の全てを大学で研修を行うことも可能であり、市中病院を中心に研修をしたい場合には最大15ヶ月を協力病院で研修することができます。大学病院ではプレゼンテーションや多科合同のカンファレンスなどを通して1例1例を深く掘り下げて学ぶことができ、協力病院にてcommon diseaseを数多く経験することができます。

また、外来研修として週1回という並行研修形式で診療所で研修することが可能です。診療所研修で在宅医療の経験や医療の継続性・保健・医療・福祉の連携などについて研修することができます。

一般プログラムの他、小児科特別プログラム、産科特別プログラム、研究医特別プログラムがあります。(特別プログラムの詳細は個別にお問合せください)

## 研修スケジュール例

例1 幅広く様々な科で研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科(院外)	救急(院外)	内科			整形			麻酔科	産婦人科	小児科(院外)	皮膚科(院外)	精神科	地域	外来研修(診療所週1回)									

例2 専門分野(耳鼻咽喉科)を重点的に研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
耳鼻科	救急	麻酔科	内科(院外)			地域+選択			小児科(院外)	産婦人科(院外)	耳鼻科(院外)	精神科	耳鼻	外来研修									

※すべての診療科で選択研修が可能です。県内すべての基幹型研修病院と連携しています。

※研修スケジュールは個別に希望調査の上、総合臨床教育センター専任教員が個々の希望を調整しながらローテーションを組んでいます。

## 専門研修の募集について

新専門医制度の19基本領域のうち臨床検査を除く18基本領域で基幹型研修施設となっております。

専門研修においては大学院に進学しつつ専門研修を行うアカデミックレジデンツ制度、専攻医の出産・育児を支援する女性支援制度、海外留学支援制度などがあり、多彩なキャリア支援を行っております。

基本領域ごとの専門研修プログラムの内容は総合臨床教育センターのホームページ内「専門研修」をご参照ください。

## 研修・認定施設一覧

主要学会全ての教育認定施設となっております。筑波大学附属病院ホームページでご参照ください。

## 病院からメッセージ



### 総合臨床教育センター部長

瀬尾 恵美子

筑波大学附属病院は、開院以来先進的な医学教育プログラムの構築に努めてきました。

卒前、卒後、生涯教育を統括する総合臨床教育センターに専任教員を配置し、一人一人に最適な研修を提供できる環境を整えています。充実した指導体制・研修管理体制・教育資源を持つ大学病院と、common diseaseを中心に数多くの症例を経験できる協力型市中病院の両方の利点を取り入れた当院の研修プログラムは、研修医ごとに希望に合わせて組まれております。また、一人として同じ内容はありません。また、専門医の取得や大学ならではの研究医の養成、海外留学制度、女性医師の出産育児支援の充実など、臨床研修の先のキャリアの広がりも当院の研修の魅力です。ぜひ、医師としての第一歩を筑波大学附属病院で踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。



### 研修医

立川 茉里絵

筑波大学附属病院の研修プログラムの最大の特徴は、大学病院、複数の市中病院を自身の希望に合わせてローテーションを組むことができる自由度の高さにあると思います。

例えば私は学生時代より小児科医をしており、初期研修は小児科を軸にプログラムを考えました。専門性の高い大学、common diseaseを診ることができる地域病院を含む複数の病院で研修を行いました。また、小児科に関する深い小児科、産科を経験できることも大学病院ならではの特徴です。様々な診療科で研修を行って、年齢層を問わず幅広い疾患の急性期の初期対応を学ぶことができました。様々な疾患で研修することにより一定の負荷があり、良い緊張感を持って充実した研修を行えたと思っています。

診療科が決まっているからこそ他の診療科を重点的に回ることや、研修を行いながら2年目でローテートする診療科を考えるなど、多様なニーズに合わせて主体的に研修を決められるからこそ、どの人にとっても満足度の高い研修になるのではないかと思います。

研修医の出身大学は筑波大学と他大学が同程度の割合で、私自身も他大学出身ですが不便を感じることはなく、自然に溶け込むことができました。また、後進に対する教育的な土壤があり、多くのことを上級医から教えていただける他、研修医も学生へ説明することで自分の理解が甘い部分も浮き彫りになり成長につながりました。他にも産科では帝王切開の執刀医となったり、貴重な経験もでき、上級医の指導の下、研修医が担当できる範囲が広いことも特徴です。

皆さんにおいても当院で自分がだけのオリジナルプログラムを作り、充実した研修を送れるよう、応援していま